

令和6年度災害救援活動報告書

令和6年度
能登半島地震における
支援活動記録

【中間報告】

AFTER

2024

01.01

愛知ネットだから、 できることがあります。



被災地で人の心を支えること。
それは、私たちの大切なプライドであり、
使命でもありました。

2011年の東日本大震災、2016年の熊本地震。
愛知ネットは災害救援に取り組む団体として、
今までもさまざまな支援活動を実施してきました。
そして2024年、令和6年能登半島地震が発生した直後から、
石川県の被災地でも支援活動を展開しています。
炊き出しなどの物理的な支援はもちろん、
心のケアにも重点を置いて活動してきました。
被災者の方々にしっかりと寄り添い、支えていくこと。
そのミッションを遂行する経験とノウハウ、
そして、プライドが愛知ネットにはあります。

Contents

- 04 | 能登半島地震災害発生から緊急支援に到るまでの動き
- 06 | 活動拠点と支援対象地域
- 08 | 支援活動内容
- 10 | 協働団体・活動支援団体
- 12 | 現地活動記録
- 25 | メディア紹介記録
- 26 | 愛知ネットスタッフ・関係者現地支援活動の動き

能登半島地震災害発生から 緊急支援に到るまでの動き

2024年1月～3月

能登半島地震の発災直後から自治体や関係者と連携し、現地のニーズに対応できるよう努めてきました。まずは状況把握から開始し、被災者の生活をバックアップする活動、避難所運営のサポートなどを精力的に行ってきました。石川県の被災者に対する愛知ネットの支援はまだ始まったばかり。これからも多くの方々と交流しながら支援を続けていきます。



▶1月3日～4日 現地の情報収集

- 志賀町では3日まで停電
- 1月1日の地震発生後に、まずは職員の安否確認及び被害状況の確認を行う。次に理事、職員の親戚などの安否確認及び被害状況の確認を行う。
- 県内で指定管理者となっている社会教育施設が加盟している東海北陸地区青少年教育施設協議会のつながりから、能登地方の社会教育施設に直接連絡をした。被災（建物被害や断水など）されている事が確認でき、情報収集に努めた。

▶1月9日～12日 愛知県など自治体・企業との連携開始

- 活動拠点が決まったため、今後の支援内容について、事務局と理事で検討を行った。対口支援で愛知県が志賀町に入っている事を聞き、愛知県防災局に連絡をした。
- 愛知県から「愛知ネットが志賀町に入ってくれるのであれば、災害ボラセンと避難所が困っているため、助けてほしい」という問い合わせがある。
- 幸田町からも「被害のあった内灘町を支援したい。内灘町とは災害時応援協定を結んでいる」との問い合わせがある。
- 今回の能登半島地震では、志賀町、内灘町の2軸で支援活動を展開することになった。
- トヨタ自動車と連携を図るため、打ち合わせを実施した。

▶1月23日～31日 避難者の声から企画を実施

- 寿がきや食品からカップラーメン 2,500食が届き、国立能登青少年交流の家にて被災者・支援者に向けコーナーを設置した。
- 衆議院議員の階猛（しなたけし）議員が志賀町の視察に訪れ、志賀町の各避難所をまわり被災者の声を聞いた。
- 旧土田小学校での炊き出しを実施した。地元の方が主体となり「焼きそば会」も実施し、愛知ネットは食材を提供した。
- 日本ゼネラルフードによる炊き出しの提供（愛知ネットと連携して）を富来小学校、文化ホール、旧土田小学校で実施。
- 志賀町役場職員にも「温かい食事を食べてほしい」という被災者からの要望があり、志賀町役場役場にて炊き出しを実施した。
- 富来小学校が避難所閉鎖となり、避難者が富来活性化センターへ移動の手伝いを愛知県職員とともに行った。

▶2月16日～20日 町が避難者アンケートを実施

- 安城市危機管理課職員とともに活動する。
- 愛知県職員とともに志賀町文化ホールで物資の搬入・整理のほかゴミ捨て場のゾーニングや表示看板の作成など各種環境改善も行う。
- 志賀町住民課が2月1日に全避難者を対象にアンケート調査を実施した。その結果をもとに、D-WATと連携してヒアリングシートを作成して、困りごとや今後の再建について確認をする。
- 能登中核団地でも炊き出しを実施する。

▶1月6日～8日 活動拠点の確認

- 志賀町のライフライン⇒電気○、ガス○、水×
- 鹿島少年自然の家の副所長の友人から「志賀町の避難所でリーダーをしていて、困っているようなので助けてほしい」という話をお聞きする。
- 先遣隊として石川県の中能登町（石川県立鹿島少年自然の家）、羽咋市（国立能登青少年交流の家）、志賀町の現地確認を行う。ニーズのあった志賀町旧土田小学校に伺い、状況を確認した。
- 中能登町、羽咋市、志賀町の被害状況の確認と活動拠点の選定（国立能登青少年交流の家）を行い、内部で活動方針を検討。

▶1月16日～22日 避難所での炊き出し開始

- 志賀町内の学校再開（22日）。
- 志賀町社会福祉協議会と打ち合わせを行う（災害ボラセンの状況確認）。
- 第一陣がBRAVO様寄贈の物資をプラボアの物資を旧土田小学校、富来小学校、富来活性化センターへ搬入した。
- 旧土田小学校での炊き出しを実施した。
- 志賀町内で愛知県、トヨタグループ、愛知ネットと今後の支援内容について協議。愛知県は志賀町内14カ所の避難所で運営を行っており、トヨタグループと愛知ネットはサポートに入ることを検討することになった。
- トヨタグループと共に、内灘町で現地確認をした。3カ所の避難所でニーズを収集した。その後、幸田町とも打ち合わせを行った。

▶2月5日～●日 避難所運営のサポートを開始

- 文化ホールで避難者からの「野菜が食べたい」というニーズと、調理場が使用可能になったことから、避難者の方と一緒にほうれん草のお浸しとお漬物を作った。
- 志賀町社会福祉協議会、愛知県防災局、NGO結などの関係者と災害ボランティアセンターで会議。
- 安城市にある株式会社メタルビートとのつながりで能登中核工業団地にて炊き出しを実施
- 立憲民主党愛知県連・新政あい・神奈川県の議員・チャレンジ岡崎市議の方々、若手県住田町有志、愛知県みよし市役所職員と合同で炊き出しを実施する。
- 団体「志賀天友太鼓」と協働し志賀町アクアパークシオンで炊き出しを実施する。

▶2月24日～28日 避難所は徐々に閉鎖されることに

- 避難所でコロナ感染者が増加し、隔離部屋の準備などの対応を行う。
- 愛知県から婦人会「We♡」が合流し、合同で文化ホールで炊き出しを実施する。
- 引き続き志賀町住民課とアンケート結果をもとに今後の打ち合わせを行う。
- 旧土田小学校など町内の避難所が数ヶ所閉鎖されることとなった。
- 愛知県と3月以降の活動について打ち合わせを行う。
- 中部超鋼会から被災地支援のための寄付金を受け取る。

ここから、私たちの活動が始まりました

活動拠点と支援対象地域




石川県羽咋郡志賀町

人口は約1万7千人。能登半島のほぼ中央に位置し、県内唯一の原発「北陸電力志賀原子力発電所」の立地地域である。特産物は豊富な海産物と柿。沿岸部には能登中核工業団地があり、愛知県からも安城市の(株)メタルヒートなどの企業が工場を開設している。

2005年に旧来からの羽咋郡志賀町と羽咋郡富来町が合併した経緯から、南部の志賀地区、北部の富来地区とコミュニティが分かれる傾向もある。

金沢市からの自動車での所要時間は約1時間程度。電車移動の際は町内に鉄道が通っていないため、隣接する羽咋市のJR七尾線羽咋駅を利用することが多い。

愛知ネットは、愛知県が重点支援する石川県羽咋郡志賀町を支援対象地域とし、地域に密着した支援活動を行っています。愛知県から現地入りした自治体や団体と連携し、現地の関係者から情報とニーズをキャッチし、その日その時に必要な支援を実施しています。

拠点

国立能登青少年交流の家

愛知県内にある複数の教育施設の管理運営を担当している愛知ネットは、東海北陸地区青少年教育施設協議会に加盟しており、そのつながりから国立能登青少年の家を拠点にすることができました。所在地は羽咋市ですが、志賀町の志賀地区中心部まで10分程度で到着します。同施設は早い段階から水道などライフラインが復旧したことから、地元住民に浴場を開放したり、地元の高校が臨時の教室として施設を利用することもありました。



支援場所

羽咋郡志賀町で指定避難所となっている施設、学校等を訪問し、炊き出しや避難所運営サポートなど各種支援活動を展開しました。また、志賀町から南に位置する河北郡内灘町の小学校にも訪問し、炊き出し支援を実施しました。



志賀町旧土田小学校



志賀町富来小学校



志賀町富来活性化センター



志賀町文化ホール



志賀町役場



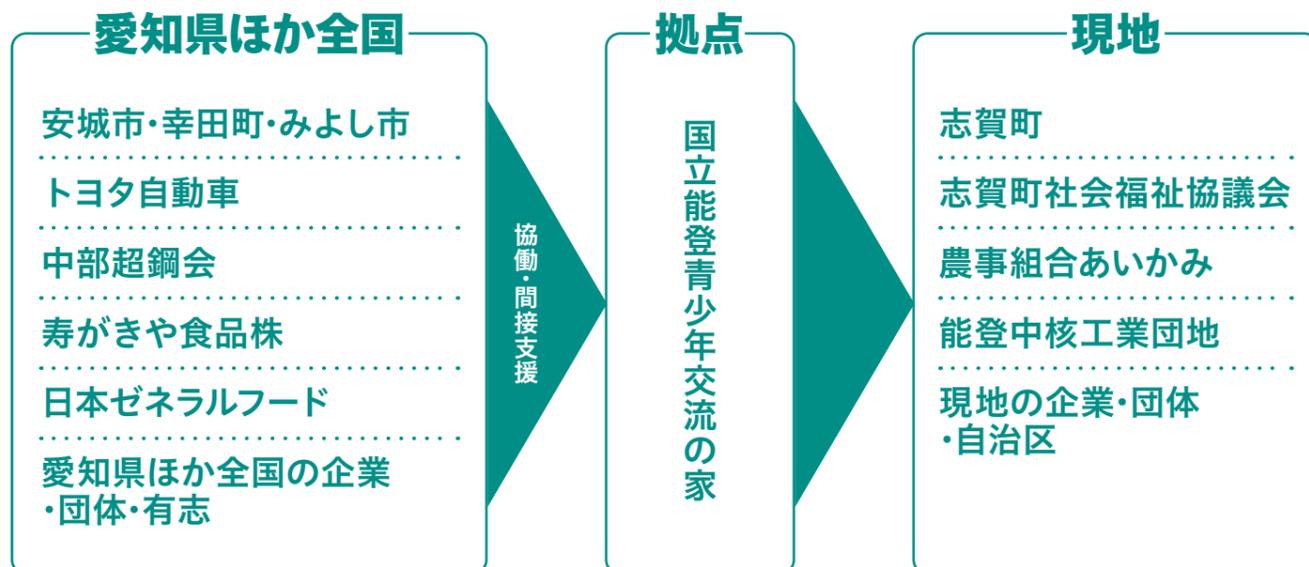
志賀町アカパークシオン



志賀町能登中核工業団地



内灘町西荒屋小学校



市民活動拠点や被災地での経験を生かし、活動を進めました

支援活動内容

愛知ネットは、愛知県各地の市民活動センターの運営を、指定管理者として受託しています。市民活動拠点で平時から活動をサポートさせてもらうことで、防災力を高めるお手伝いができると同時に、災害時には復旧・復興力増進に寄与できると考えているからです。その経験が、この石川県志賀町での活動でも活かされていると自負しています。

1 炊き出し支援



自前のキッチンカーで「あたたかい食べ物」を提供しました

愛知ネットはトヨタ自動車様寄贈の炊き出しカー（キッチンカー）を保有し、過去にも被災地で活躍してきました。能登半島地震においても、このキッチンカーを活用した支援を展開しています。メニューは「うどん」が中心で、おにぎりやカップ麺に偏りがちの避難所生活の中では「できたての温かい食べ物」が重宝され、喜んでいただけます。炊き出し支援は、地元や県外からの団体とも協働で行うことができ、食べ物の提供を通して“あたたかい”心の交流も生まれます。



2 避難所運営支援



避難所の「困った」をヒヤリングし、多方面からサポートしました

愛知県との協働で志賀町文化ホールの避難所運営も担当しました。物資の搬入から清掃、物品の整理、調理室を利用した調理など作業は多岐にわたります。今後も避難所で生活する方々とコミュニケーションを図りながら、私たちが被災地で培ってきた経験を生かし、できることを考え実施していきます。



3 現地団体連携

現地団体の情熱と底力を信じ、心の交流を通して「協働」を促進しました

震災によって大切なものをなくされ、それでも立ち上がり、わがまちの復旧や復興への思いを胸に活動する皆さんを愛知ネットは全力で応援します。今回も、避難所周辺の地域の方々と「やきそば会」を開いたり、太鼓演奏の団体と一緒に炊き出しをしつつ、太鼓で人々を楽しませるなど、多彩な活動を追加しました。



つながりのある団体と協力し合い、被災者に寄り添いました 協働団体・活動支援団体

現地の自治体・公共団体

●志賀町役場・志賀町社会福祉協議会

志賀町役場様はさまざまな部署と連携させていただきました。住民課が実施した避難者アンケートの結果をもとに支援の方向性も協議したほか、役場では職員向けに炊き出しも行いました。志賀町社会福祉協議会様とは災害ボランティアセンターの状況確認等で会議を行いました。

●農事組合あいかみ様

富来活性化センターで炊き出しをコラボレーションし、地域でとれたうるち米ともち麦を炊いていただきました。そのうるち米ともち麦の商品開発も独自で行っています。

●石川県立鹿島少年自然の家様

全国から支援に入っている行政職員の宿泊拠点のひとつ。能登半島地震の発生直後に職員さんから現地の状況を教えていただきました。

現地の企業・団体

●株式会社メタルヒート様

愛知ネット事務所のある安城市に本社のある企業で、能登中核団地に工場を開設していることから、志賀町商工課の仲介のもと、同団地での炊き出しが実現しました。

●「翔郷会(しょうきょうかい)」様

地域住民有志の会で、旧土田小学校では志賀町議の福田さんとともに炊き出しをされました。愛知ネットとの共同企画「焼きそば会」でも活躍されました。

●志賀天友太鼓

太鼓演奏を行う志賀町の団体で、愛知ネットと協働でアクアパークシオンで炊き出しを実施しました。また、太鼓演奏で現地の方々を励ましていただきました。

●特定非営利活動法人ふれあい工房たん様

石川県で就労支援事業を展開するNPO。富来活性化センター、内灘町西荒屋小学校で愛知ネットと炊き出しをコラボレーションし、おいしいカレーを作っていただきました。

愛知県ほか全国の自治体・公共団体

●愛知県様

志賀町で対口支援を行っており、職員が避難所運営を担当されました。防災局から現地のニーズをお聞きし、現地入りしてからも密に連携させていただきました。

●みよし市役所・みよし市社会福祉協議会様

炊き出し用備品をお借りました。みよし市役所から3名、みよし市社会福祉協議会から2名の方が訪問され、現地で何度も打ち合わせしたほか、炊き出しにもご協力いただきました。

●幸田町役場・幸田町商工会様

内灘町と災害時応援協定を結んでいることから、愛知ネットとともに内灘町の避難所を現地確認。内灘町西荒屋小学校での炊き出しでは生米、いちごを提供していただきました。

●安城市役所様

愛知ネット事務所のある自治体で、危機管理課が現地入りし、炊き出しにご協力いただきました。

●東海北陸地区青少年教育施設協議会様

能登半島地震の発災直後に連絡を取り、宿泊等の拠点となる国立能登青少年交流の家をご紹介します。

愛知県ほか全国の企業・団体

●トヨタ自動車株式会社様

1月下旬に現地入りされ、支援について協議しました。また愛知ネットの「炊き出しカー」はトヨタ自動車様からの寄贈です。

●株式会社アイシン様

炊き出しで使用したテントを寄贈していただきました。

●KKR AutoWorks 様

被災地で活動する車両を提供していただきました。

●デンソーはあとふる基金様

被災地で活動する車両を提供していただきました。

●株式会社 BRAVO 様

避難者用のパルーン製間仕切り「シェルターガード」をご提供いただきました。

●株式会社テクノ・マエザワ様

愛知ネットと一緒に国立能登青少年交流の家を拠点に支援活動をしていただきました。

●日本ゼネラルフード株式会社様

発災直後に「何か力になれることはありませんか」とご連絡いただき、自社のキッチンカーで現地で炊き出しを実施しました。愛知ネットは同社をお手伝いしました。

●寿がきや食品株式会社様

カップラーメン2,500食を提供していただき、国立能登青少年交流の家にて被災者・支援者に向けコーナーを設置しました。

●立憲民主党愛知県連・新政あいち・神奈川県議員・チャレンジ岡崎市議の皆様

愛知ネットの炊き出し支援に合流していただき、稲岡健太郎・志賀町長に募金や寄付金を手渡しました。

●「We♡」様

愛知県の有志女性グループで、炊き出し支援のほかメニューの揚げはんぺん、蒲郡デコポン、バナナをご提供いただきました。

●岩手県住田町有志様

愛知ネットが東日本大震災の被災地支援の拠点にした住田町から、有志の方々が炊き出しをお手伝いいただき、イラスト入りの看板も作成いただきました。



農事組合あいかみ様



翔郷会様
(炊き出しのフランクフルト)



志賀天友太鼓様



特定非営利活動法人
ふれあい工房たん様



愛知県様



幸田町商工会様



トヨタ自動車様
(炊き出しカー)



株式会社アイシン様
(テント提供)



デンソーはあとふる基金様
(車両提供)



株式会社 BRAVO 様
(シェルターガード提供)



日本ゼネラルフード
株式会社様



寿がきや食品株式会社様



立憲民主党愛知県連・
新政あいち・神奈川県議員・
チャレンジ岡崎市議の皆様



we♡様

2024 1月6日土～2月25日日 現地活動記録

発災直後から現地入り、そして現地での支援活動。
1月、2月の愛知ネットの動きを、日ごとにまとめました。
炊き出しや避難所運営など、被災地のニーズをお聞きし
現地団体とも連携して活動する私たちの記録をご覧ください。

報告① 1月6日(土)

国立能登青少年交流の家で 現地状況をヒアリング

本日、午前中に安城市を出発し、東海北陸道→北陸道→のと里山海道を経由し、石川県羽咋（はくい）市に入りました。

羽咋市は震度7を観測した志賀町の南側に位置しており、大きな建物被害等はありませんでしたが、断水状態が続いています。

私たちが日頃管理させていただいている社会教育施設の東海北陸ネットワーク（会議体名：東海北陸地区青少年教育施設協議会）から、国立能登青少年交流の家様に受入をしていただき、志賀町の被災状況などをヒアリングしました。

■以下、ヒアリング内容

- ・志賀町は、縦長に広がった地域で、北部の富来（とぎ）地区と、南部の志賀（しか）地区に分かれており、富来地区は家屋倒壊や道路ひび割れ、陥没など甚大な被害がある。
- ・避難所は14カ所で開設しており、高齢者なども多く避難をしている。（具体的な避難者数は不明）

明日は石川県立鹿島少年自然の家（石川県鹿島郡）に伺い、被災状況のヒアリングを行います。午後には、志賀町に入る予定です。

報告② 1月7日(日)



鹿島少年自然の家と 避難所でヒアリング

朝から雪や雨が降り、悪天候の中での活動となりました。午前中は、石川県立鹿島少年自然の家（石川県中能登町）にお伺いし、午後には、志賀町の土田地区にある旧土田小学校（指定避難所）に伺い、豊明市様よりお預かりした支援物資の搬入と被災状況のヒアリングを行いました。

【旧土田小学校避難所リーダーからのヒアリング内容】

■地区状況

- ・志賀町の東部に位置し、現在は50名が避難されている。
- ・旧土田小学校は地域の指定避難所となっている。
- ・発災後しばらくは地域の集会所が避難所となっていたが、集会所は閉鎖され、現在は旧土田小学校に集約されている。

■インフラ

- ・水道の復旧は1か月後から2か月後になる見通し。
- ・電気、ガス、携帯電話の電波は使用可。

■支援状況

- ・避難生活に必要な物資は、志賀町や個人ボランティアの支援で確保できている。
- ・食事は、おにぎりとパンが中心となっている。温かい物があるとありがたい。
- ・トイレは、仮設トイレ計4基を設置済み。
- ・人的支援として、町役場から1名と、愛知県職員2名（1月6日から）が派遣されている。
- ・高齢化が進んでおり、物資の運搬などで若者の力が欲しい。

報告③ 1月17日(水)

志賀町での支援活動開始！ シェルターガードを配置しました

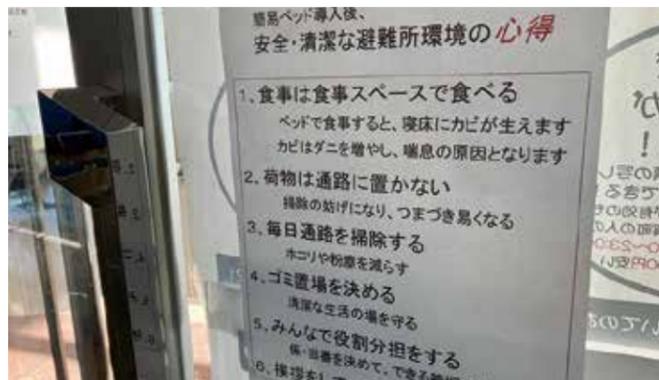
本日から志賀町での活動を本格的に開始しました。午前には志賀町文化ホールに伺い、志賀町社会福祉協議会の方と意見交換をさせていただきました。

志賀町災害ボランティアセンターは開設していますが、現在は被災者ニーズの情報収集が行われています。災害ボランティアの募集には少し時間がかかりそうです。詳しくは、志賀町災害ボランティアセンターのHPをご確認ください。
(<https://shikavc-ishikawa.jimdofree.com/>)

午後には志賀町内の避難所(4か所)を伺いました。各避難所によって生活環境や運営体制に特徴があり、地域の方が主体で避難所運営をされている様子も見受けられました。

また、生活環境の改善に向けて課題の共有もいただき、愛知ネットが出来る部分のお手伝いをさせていただく事になりました。ひとまずは、株式会社 BRAVO 様よりお預かりしたシェルターガード(避難所用の間仕切り)を、更衣室スペースに配置させていただきました。

今後、志賀町内の各避難所ニーズを確認しながら、支援活動を進めていきます。



報告④ 1月18日(木)



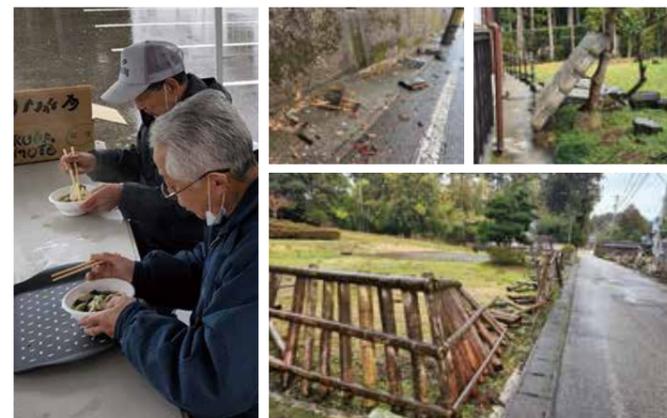
「炊き出しカー」を出動し 旧土田小学校で炊き出しスタート

本日から20日まで、志賀町の土田地区にある旧土田小学校(指定避難所)で炊き出しを行います。旧土田小学校付近では、建物や塀などが崩れている様子が見られました。

雨が時折強く降る中、避難所で生活する方や、在宅で来所する方などに対して約60杯のわかめうどんを提供しました。「温かいうどんはとてもおいしかった」「ありがとう」と喜んでいただきました。避難されている方からは、「断水が続いているが、お風呂に入るためには整理券が必要で、整理券に記載された時間と場所でしかお風呂に入れない。」というお話も聞きました。

炊き出しを行う「炊き出しカー」はトヨタ自動車株式会社様より寄贈いただき、これまでも愛知ネットの災害救援活動に使わせていただいています。

午後から、志賀町の他の避難所(3か所)を伺い、ニーズの確認等を行い、株式会社 BRAVO 様よりお預かりしたシェルターガード(避難所用の間仕切り)を43個お渡ししました。着替えスペースや更衣室として使用してくださるそうです。



報告⑤ 1月19日(金)

志賀町長から感謝と激励の お言葉をいただきました

昨日に引き続き、石川県志賀町土田地区にある旧土田小学校(指定避難所)で炊き出しを行いました。

今日のメニューは「カレーうどん」と「おつけもの」。雨天だった昨日はボランティアの方が避難所内にうどんを運んでいましたが、晴天の今日は避難をされている方がキッチンカー前のテントで食事されることもありました。温かい食事を囲みながら、避難をされている方同士でのお話も弾んでいました。

そしてさまざまなお話をお聞きしました。「避難生活での食事はおにぎりが中心で、温かい食事は本当にうれしい。近所の人の分も持ち帰ります」とお話しされたのは、在宅避難をしている近所の高齢の方のために、避難所に食料を受け取りにみえた方。

洗濯物に困っているというお話も聞きました。地域的な断水の影響で利用者が多く、コインランドリー自体は家から15分の距離にあるものの、洗濯機の空き待ちや、使用後も洗濯が終わるまでその場で待つため、洗濯をして家に帰るまでに2時間かかることもあるそうです。

普段と異なる環境で生活する中、愛知県からやってきた我々に「遠くから来てくれてありがとう」というお言葉もかけていただいたり、志賀町内の避難所を巡られている志賀町長様からも感謝と激励のお言葉をいただきました。



報告⑥ 1月20日(土)

「一週間ぶりに温かいものを 食べられてうれしい」との声も

18日から3日連続で、石川県志賀町土田地区にある旧土田小学校(指定避難所)で炊き出しを行いました。

気温8度の肌寒い中、あたたかい「あんかけうどん」を提供し、避難所の利用者など地域の方に大変喜んでいただきました。

3日目となると、この炊き出しを楽しみにされていたり、気さくに私たちに話しかけていただける方もいます。避難所生活をされている方だけでなく、在宅避難生活の方からも「近所の人に今日も炊き出しをしていることを聞き食べにきたよ」「1週間ぶりに温かい食事を食べられてうれしい」などの声をいただきました。

また、避難所リーダーの方からは「以前は土田小学校で、地域の皆と焼きそばを作ったこともあった」というお話をお聞きしました。それを受け、愛知ネットと土田地区の共同作業による焼きそば提供プランが発案され、愛知ネットは食材を用意、そして土田地区は備品の準備(ガス・鉄板・調理器具など)と調理を担当し、27日(土)昼に実施することとなりました。地域の方にも広くお声掛けさせていただきます。



報告⑦ 1月21日(日)

日本ゼネラルフーズ様と志賀町北部の富来小学校へ

今日から、活動場所は石川県志賀町の北部にある富来小学校(指定避難所)になります。炊き出しは、愛知ネットに代わって日本ゼネラルフーズ様が担当し、25日まで避難所での支援を行っていただくことになりました。

日本ゼネラルフーズ様は1月1日の発災直後に「何か力になれることはありませんか」とご連絡いただき、昨日、上席執行役員・戸田様をはじめ6名が現地入りされました。ご提供いただいた「かきたまうどん」は肉、食材も新鮮。具材のサイズも避難者の年齢層に合わせて当日柔軟に対応いただき、味もさすがプロ、といったものでした。

富来地区は、現在小学校で87名が避難されているほか、自主避難所の方も70名ほどみえると聞きます。周辺の家屋や道路だけでなく、学校内でも損傷等の被害が見られ、地震の揺れの大きさを感じました。

小雨が降る中、避難所生活をされている方や、車でうどんを取りに来られた自主避難所の方に約100食を提供。「大変美味しい」「生き返る」と喜んでいただくことができました。寝たきりの高齢者の方には、避難所有志の方がうどんを届けていました。



報告⑨ 1月23日(火)

学童の子どもたちが描いた絵に「がんばろう」「ありがとう」の言葉

今日は、石川県志賀町土田地区にある旧土田小学校(指定避難所)で日本ゼネラルフーズ様の「牛丼」の炊き出しを実施しました。朝から寒波の影響でとても寒く、志賀町の市街地では冷たい雨、旧土田小学校周辺では雪が降っていました。

地元の方の話によれば、石川県は地域柄、冬は曇りや雨や雪がほとんどで、晴れるのは数日程度。「今年は雪が記録的に少ないが、例年なら20~30センチは積もっている。今年が通常通りの雪だったら、とても大変だった」と話されていました。通常なら降雪日には除雪車が稼働しますが、道路が損壊しているため、除雪ができず通行止めもあり得とのこと。

旧土田小学校では先週3日間、炊き出しを行っているため、我々と顔見知りの方も増えています。この地区では今日から水が使えるようになったそうですが、飲料としては使えず、さらに「市からは下水はトイレなどの最低限にするように言われているため、料理やお米を炊くこともできない」ことから、炊き出しの食事が重宝しているとの話もお聞きしました。避難者の方は「温かいご飯がうれしい」と喜ばれていました。

避難所の出入り口には、学童の子どもたちが画用紙に書いたメッセージが貼られていました。可愛い絵と一緒に「がんばろう」「ありがとう」と書かれていました。



報告⑧ 1月22日(月)



全壊の建物や通行止めの道路など被害の大きさを見て取れる富来地区

昨日に引き続き、石川県志賀町富来地区にある富来小学校(指定避難所)で日本ゼネラルフーズ様の炊き出しのお手伝いと、避難所に常駐している愛知県職員の引越しのお手伝いを行いました。

日本ゼネラルフーズ様が提供された「クリームシチュー」は、たくさんの野菜と鶏肉が入っており、栄養バランスの考えられた温かくておいしい食事を約90食提供することができました。

また、愛知県職員さんが寝泊まりする事務所の引越し作業も行いました。愛知ネットがBRAVO様からお預かりして届けたパーテーションも活用されました。

富来地区では、全壊になった建物が見つからない状態が残されており、中には車ごとつぶれてしまった家や、倒壊して道路をふさいでしまった家、崩れた崖が家の直前まで迫っている家がありました。道路の状況は、通行できる場所は増えていますが、応急処置の状態、段差が多く路面の状況を見ながらゆっくり歩くことしかできない状況です。

立ち寄ったホームセンターでは、地震発生から3週間たちましたが、売り場には地震の爪痕が残っていました。塗料がこぼれた床、散乱した売り物、曲がってしまった収納棚など、片付けにはまだまだ時間がかかりそうです。このホームセンターでは、被災者のために片付け作業と販売を同時並行で進めてくださっているようでした。

報告⑩ 1月24日(水)



積雪30cmの中、文化ホールで炊き出し 雪は避難所運営にも影響します

昨日からの降雪で30cm程度の積雪がありました。今日の支援場所である志賀町文化ホールまでの道は、除雪車が入り、大きな混乱はありませんでしたが、慎重な運転が求められました。道路に積もった雪は、破損した道路の状況を隠してしまっています。また、滑ったり、雪が足にまとわりついたり、通常の活動にも少しずつ気を配る必要が出てきていました。特に避難所では、雪の付いた靴で出入りをするので廊下などが濡れてしまうため、雪を払うなどの手間が必要になっています。

今日も日本ゼネラルフーズ様の「醤油ラーメン」の炊き出しを実施し、約110食を提供しました。

志賀町文化ホールには調理室があり、水もガスも問題なく使うことができます。ただ、「自分たちで食事を作る」という雰囲気はなく、だれも調理室を使用しないそうです。

届けられた物資については、現在、避難所での登録をされていない被災者の方が物資を取りに来た場合、その方の被災状況に応じてお渡ししているようです。

また、避難者ではない方が物資を持っていかれようとしていました。運営担当が声をかけると、「NHKのテレビで物資を配っているとアナウンスしていた」と話されていました。「このものは、避難者のものですよ」と声をかけると、驚きながらも「すみません。きのどくな(石川県の方言で「気を使わせて申し訳ない。ありがとう。)」という意味」と話されて、最低限の物資を受け取り帰られました。何かの勘違いがあったようです。

報告⑪ 1月25日(木)

カレーライスが大好評！ 健康を考慮し体操の時間も

本日も、石川県志賀町志賀地区にある志賀町文化ホール（指定避難所）で日本ゼネラルフード様の炊き出しを実施しました。天候は、23日から続いた大雪のピークは過ぎたものの、時折強い風と大粒のあられが降り、痛いほど体に打ち付けてくることもあります。

路面には15cm程度の積雪があり、あられ状の乾いた氷の粒が積もっていました。

日本ゼネラルフード様が作られたカレーライスは、トロトロの牛すじを中心に野菜と具のたくさん入った本格的なものでありながら、ご高齢の方に配慮して辛さは控え目の抑えられており、避難者の方にも喜ばれていました。

避難者の方を優先し、その後残ったものは現地で活動されるスタッフと水を汲みに来た被災者の方にお配りし約130食を提供。段ボールで自前のお盆を作って運ばれるなど、皆さんのカレーに対する期待度がうかがえました。「野菜がありがたい」「本当においしかった」と大変好評でした。

避難所では、今日から10時と14時の2回、体操の時間を取ることにしたようで、静岡県の災害派遣福祉チームの方々を中心となり、テレビを見本として映しながら体操をされていました。たくさんの人が参加をされ、笑顔が見られる場面もありました。



報告⑬ 1月27日(土)

地域の皆さんと「焼きそば会」を実施 避難所生活の人も最高の笑顔に

今日は、石川県の志賀町土田地区の旧土田小学校（指定避難所）で、土田地区住民の方と「やきそば会」を実施しました。「やきそば会」は、先週の旧土田小学校での炊き出しの際、地域住民との対話の中で「地域の人々と焼きそばをつくった思い出」が話題になったことをきっかけに発案。

地域の皆さんが日常を取り戻すお手伝いをするために、いつもの炊き出しではなく、避難所リーダーの西川さんを中心とした地域の方と愛知ネットの共同で実施しました。愛知ネットは主に食材の調達を担当させていただきました。

避難されている小中高生やその保護者の方が、やきそばのパック詰めのお手伝いに参加していただくなど、会場は終始気さくでにぎやかな雰囲気に。地区の皆さんもやきそば作りを楽しんでいただけたようです。

避難所の一室で交流イベントに参加された地区のママさんグループにも「やきそば会」の情報を流していただいたおかげで、通常の炊き出しより多い165食を提供できました。

主催の西川さんや梢町議からは「気持ちがあがるようになってよかった」「ポロっと言ったことを形にしてくれてありがとう」「土田だからできた」というお話を聞くことができました。



報告⑫ 1月26日(金)



寿がきや様から2,400食の カップ麺を提供いただきました

今日からは愛知ネットの活動プラン「第2クール」になり、新しいスタッフが入替わりで愛知県から現地入りしました。

道路は日々稼働されている除雪や、雪が少し溶けたことで状況が良くなっていました。地震により生じた大きめの亀裂は補修はされつつありますが、河川にかかる橋では、道路と橋の間の傾斜が大きく、補修の跡がはっきりと見られます。

今日は寿がきや食品株式会社様から、カップ麺2400食をご提供いただきました。活動拠点とさせていただいている国立能登青少年交流の家には、学校が被災し、授業が困難になった県内の受験生（高校生）や支援者が宿泊されています。

また、お風呂の一般開放をされており、近隣の方が入浴のために訪れています。施設を利用されている方々にも間接支援をするため、お預かりしたカップ麺を置かせていただきました。

志賀町文化ホール（指定避難所）にお伺いしたところ、「施設の調理室で簡単な調理がしたい」というご相談を受けました。この調理室は、電気や水は問題なく使えるものの、現状ではさまざまな理由からだれも使用されていないそうです。施設職員の方からのご相談にお応えするために、今後調整を行っていきます。



報告⑭ 1月28日(日)



「野菜を摂りたい」「海産物を食べたい」 避難者の生の声をヒアリング

今日は、石川県志賀町土田地区にある旧土田小学校と、志賀町文化ホールの2ヶ所の指定避難所を訪問し、炊き出しの準備やヒアリング等を行いました。

旧土田小学校では、志賀町議の福田さんと、地域住民有志の会「翔郷会（しょうきょうかい）」さんがフランクフルト、豚汁の炊き出しをされていました。

志賀町役場企業誘致対策室主任の中野さんとお会いし、中核団地での炊き出しの依頼を受けました。志賀町には、安城市に本社を置く企業「メタルヒート」様の工場があり、中野さんはそちらのご縁から同じ安城市に事務局のある愛知ネットをお知りになったそうです。

志賀町文化ホールでは、調理場を活用した企画実施について避難者の方にヒアリングを行いました。現状では、脂っこい食べ物が多いことから、野菜を摂りたいというニーズがあり、「漬物やほうれん草のお浸しやオムレツなど、食材と調味料があれば自分で調理して食べたい」という声もいただきました。北陸では、毎日お刺身を食べられている方も多く、「血の気のある海産物を食べたい」という要望もありました。食材と調味料は愛知ネットで用意し、調理は避難されている皆さんが調理場で行っていただくことを前提としています。

避難所担当の愛知県職員さんと打ち合わせを行い、近日中に告知チラシを作成して企画することになりました。



報告⑮ 1月29日(月)・30日(火)

志賀町役場で職員や 県外支援者に向けて炊き出し

この2日間は、志賀町役場にて炊き出しをさせていただきました。役場へ足を運ばれる地域の方、全国から支援に来て
いる皆さまにうどんの提供をしました。

29日はカレーうどんを200食程、30日はわかめうどんを
220食程提供しました。30日は、みよし市役所から3名、
みよし市社会福祉協議会から2名の方が訪問され、炊き出し
にご協力いただきました。

支援に来ている各自治体の方々は、金沢市で宿泊し、毎日配
属先まで移動されています。食事はコンビニで出来合いのもの
を調達することが多く、支援者もあたたかい食事はあまり
食べられていないそうです。

支援者の方を応援することで、間接的に被災地を支援する
ことになります。



報告⑰ 2月10日(土)

愛知県などから議員の方々や有志・ 市役所職員さんが愛知ネットに合流

石川県志賀町役場をキッチンカーで訪問し、役場で支援を
されている行政職員や役場に訪れる町民の方を対象に、あ
たたかいわかめうどんを約150食提供しました。

この日の炊き出しは、立憲民主党の重徳議員の呼びかけで
集まった立憲民主党愛知県連の皆様・新政あいちの皆様・神
奈川県の議員の皆様・チャレンジ岡崎市議の皆様と、岩手県
住田町有志の方、愛知県みよし市役所職員の方と協働で行
いました。

岩手県住田町は、東日本大震災時に愛知ネットが支援に入
らせていただき、それから13年目のお付き合いをさせてい
ただいています。東日本大震災時の活動内容については、過去
の記事をご参照ください。

今回の家康のイラスト入りの看板(写真参照)は、住田町
の木村さんが描いていただきました。木村様、愛知ネットから
のお願いに応じていただき、ありがとうございます!

また、今回一緒に活動していただいた皆様のfacebookをシェ
アさせていただきましたので、併せてご覧ください。



報告⑯ 2月6日(火)・7日(水)

文化ホールで避難者とクッキング 能登中核工業団地で炊き出しも

石川県志賀町の志賀町文化ホール、能登中核工業団地にて
支援活動を行いました。

志賀町文化ホールでは「みんなで一品!クッキング」と題し、
避難者の方と一緒にほうれん草のお浸しとお漬物づくりを
実施。支給物資として配膳される毎日のお弁当が高カロリーで、
「野菜が食べたい」というニーズがあることと、文化ホールの
調理場が使用できるようになったことから実施に至りました。

愛知ネットが準備した食材や調味料を参加者が思い思いに
使って調理され、昼食と一緒に食べる方や、夕食の分まで作
り置きされる方まで様々でした。ご高齢の方の参加が多く「久
しぶりに包丁を持った」「野菜が扱えて嬉しい」というお言葉
もいただきました。愛知ネットでは避難者の生活再建と、自
立をサポートする活動を考続けていきます。

能登中核工業団地は、安城市にある株式会社メタルヒート
様が工場を建設していることから、そのつながりで炊き出しを
実施しました。

中核工業団地に勤務されているスタッフに向けて「三河風か
けうどん」約200食を提供。以前は安城市にお住まいだった
というメタルヒート様の社員の方も食べにられました。

工業団地の各社はおおむね事業を再開されている様子で、
復興へ向かうエネルギーを感じました。



報告⑱ 2月11日(日)

志賀天友太鼓様と協働で 炊き出しを実施しました

石川県志賀町の団体「志賀天友太鼓」様が、被災したふる
さとを元気づけようと、志賀町アクアパークションで炊き出し
を実施しました。愛知ネットも同団体と協働し、炊き出しを協
力させていただきました。

石川県では太鼓が地域の文化として根付いており、志賀天
友太鼓様は新調した太鼓のお披露目イベントを1月に企画さ
れていたようです。昨年からの練習や準備を重ねられてきた
が、震災により中止となりました。

今回の炊き出しでは、志賀天友太鼓様が温かいコーヒーと
ぜんざいを提供され、太鼓体験用に太鼓を設置されました。
愛知ネットは、わかめうどんの提供と、ぜんざいの材料調達
をさせていただきました。うどんは310食提供しました。愛知ネット
の炊き出し用のポップも、天友会太鼓様が前日に準備し、当
日持ってきてくださいました。ありがとうございます!

アクアパークションはプールや入浴施設、レストラン、地
元野菜等の直売所が併設されている複合施設で、震災後は
一般の方にお風呂の無料開放を行っています。

今回、志賀天友太鼓様との協働による炊き出しが好評だ
ったこともあり、第2回もぜひ実施したいと考えています。また、
一日も早く志賀天友太鼓様のライブが開催されることを願っ
ています。



報告⑱ 2月11日(日)

現地の農事法事あいかみ様、 たんと様とコラボで炊き出しを実施

石川県志賀町富来活性化センター（指定避難所）にて、志賀町の農事法人である「農事組合法人あいかみ」様、そして石川県内に3つの就労支援事業所を展開されている「特定非営利活動法人ふれあい工房たんと」様とコラボで炊き出しを行いました。

メニューはカレーライス。農事組合法人あいかみ様には地域でとれたお米ともち麦を炊いていただき、特定非営利活動法人ふれあい工房たんと様には美味しいカレーを作っていただきました。

材料提供、準備は愛知ネット、みよし市職員、住田町有志の方、立憲民主党愛知県連の皆様・新政あいちの皆様・神奈川県の議員の皆様・チャレンジ岡崎市議の皆様が担当しました。

たんと様の酒井理事長とは、あいかみ様を通じ富来活性化センターで出会いました。

あいかみ様との協働で炊き出しを計画していたところ、偶然にも富来活性化センターを訪れていた酒井理事長が熱い思いを話され、意気投合し一緒に炊き出しを実施することとなりました。

たんと様は【同じ経験をしているからこそ気持ちがわかりあえ、今持っている力を生かすことができる】「1人の力、努力だけではなく、たくさんの人と繋がり、協力しあうことで可能性は広がる」という理念のもと、石川県で就労支援事業を展開されています。



報告㉑ 2月13日(火)

被害が大きい富来地区の 瓦礫やガラス等の処理を実施

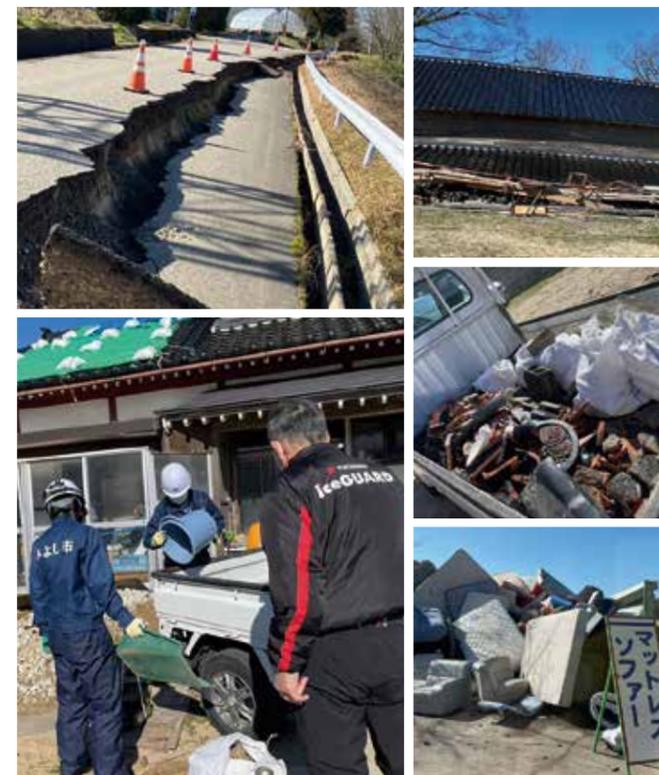
愛知県みよし市様との協働で、石川県志賀町・富来地区の住宅の瓦礫や割れたガラス、窓枠の撤去作業を行いました。

ボランティアに行かせていただいたお宅は、応急危険度判定で「危険」と判断され、車中泊の生活を余儀なくされておりました。ご対応いただいた高齢の男性は「重いものを持つことや、腰をかがめての作業はできませんが、皆でやった方が早く終わるから」と、われわれが積み込んだ災害ごみの運搬を手伝っていただきました。

一番困っていることをお聞きしたところ、「情報が入ってこないこと」とおっしゃっていました。

志賀町では、防災無線での放送や町の公式 LINE、ホームページで情報を流していますが、聞こえの悪い方や、SNS 等各种メディアに不慣れな方には情報が届きにくい状況となっているようです。

愛知ネットは炊き出しのほか、避難者の方とコミュニケーションを図り、困りごとをお聞きしています。被災地の生のお声を聞かせていただきながら、できる支援を考え、実行していきます。



報告㉒ 2月12日(月・祝)



幸田町、たんと様など多くの方々と 協働して内灘町で炊き出し

石川県内灘町の西荒屋小学校グラウンドで、近隣住民の方に向けた炊き出しを行いました。

内灘町は、局所的な液状化により一部地域が被災しています。

内灘町と対向支援協定を結ばれている愛知県幸田町様のお声かけにより、今回の炊き出しが実現しました。

メニューはカレーライスで、先日の富来活性化センターでのカレーライス炊き出しと同様、特定非営利活動法人ふれあい工房たんと様にご協力いただきました。また、幸田町様・幸田町商工会様には生米、いちごを提供していただきました。

炊き出しは、立憲民主党愛知県連の皆様・新政あいちの皆様・神奈川県の議員の皆様・チャレンジ岡崎市議の皆様、岩手県住田町有志の皆様、愛知県みよし市様、愛知ネットスタッフによる協働で実施しました。

報告㉓ 2月15日(木)・16日(金)



食生活の困りごとをお聞きし 文化ホールの調理室で豚汁を調理

愛知ネットは愛知県と連携し、志賀町文化ホールで避難されている方々のニーズのヒアリングをはじめ、避難所に届く支援物資の整理整頓や、食事提供、自宅に戻られた方が使用されていたお部屋の片付けなどを行っています。

志賀町では段階的に避難所を閉鎖しており、避難所閉鎖に伴い移動された方などを含め45人(2/16現在志賀町発表)の方がこの文化ホールで避難生活をされています。ご高齢の方が多く、老若男女さまざまな方がみえました。

この日、よく耳にした困りごとは、食生活についてでした。毎日同じものだと飽きがちになるほか、「(高齢で咀嚼がしづらいので)おにぎりは固くて食べられない」「魚や野菜が食べたい」といったお声を聞きました。

そこで、文化ホールの調理室をお借りし、あたたかい豚汁を作って夕食時に提供しました。豚汁を食べられた方からは「あたたかいものはうれしい」「おいしかったよ」「ありがとう」と言っていました。

ほかの避難所では、避難されている方の中でのボランティアとして、避難されている方の希望を聞きながら食事を作ることもあるそうです。

報告⑳ 2月17日(土)

安城市と協働で炊き出し 「うどんなら食べられる」と好評

この日も石川県志賀町の志賀町文化ホールで避難所運営を活動を行いました。

キッチンカーによる昼食の炊き出しがメインで、温かいうどん（鰹節、ほうれん草）を提供。愛知県安城市（危機管理課）様と愛知ネットスタッフ 2 名が炊き出しを担当しました。避難されている方をはじめ、文化ホール職員様、支援をされている愛知県職員様、北海道・静岡県の DWAT 様、災害ボランティアセンター職員の方を合わせて 100 食を提供しました。

避難者の方の食事は、支援物資で届けられるパン・おにぎり・お弁当・カップラーメンが中心です。炊き出しは行われているものの、週に何日もある場合と、週に一日もない場合もあって不規則のようです。「おにぎりは固くて食べられない」と話されていた方も、「うどんなら食べられる」と完食してくださいました。

今週は、被災して初めて牛乳（常温保存可のもの）が支援物資として届けられました。

避難所運営に入らせていただくようになり、避難されている方から声をかけていただくことも増えています。今後も避難所にいらっしゃる方々とコミュニケーションを図りながら、われわれのできることを考え実施してまいります。



報告㉑ 2月25日(日)

愛知県の女性グループから フルーツをいただきました

石川県志賀町の志賀町文化ホールで、「We♡」様と炊き出しを行いました。

「We♡」様は愛知県の有志女性グループで、炊き出しメニューの揚げはんぺん、ビタミンや栄養豊富な蒲郡デコポン、バナナをご提供いただきました。

あいにくの雨で風が強かったこの日は屋外で火をつけることが難しく、文化ホールの調理室で調理を実施。管理者様が快く調理室を貸してくださいました。

避難されている方、文化ホール職員の方、支援をされている愛知県職員や災害ボランティアセンター職員の方合わせて 50 食を提供。We♡様は上記のメニューのほか、うどんのだしをアレンジした野菜スープをつくっていただき、さらには避難されている方などへ優しくお声がけをしていただきました。

その効果もあり、いつもは黙々と食事をとられる方々も会話が弾み、笑顔を見せていただくことができました。

温かい食事と同じぐらい好評だったのはフルーツ。「1 月 1 日以降、はじめてバナナを食べた」「被災する前は毎日バナナを食べていたので、久しぶりに食べられて嬉しい」とたいへん喜ばれました。



メディア紹介記録

愛知ネットの活動が、テレビや新聞で取り上げていただく機会がありました。
ここでその実績を紹介させていただきます。



1月28日掲載：北陸新聞



1月20日：日テレ取材



2月12日掲載：中日新聞



2月14日掲載：中日新聞



3月1日：中日新聞

愛知ネットスタッフ・関係者 現地支援活動の動き

【長期滞在】

1月6日頃～2月29日頃（随時往来）

理事長 天野竹行
事務局長 濱口義雄
事務局 内藤 瑠
事務局 西川加奈
事務局 鈴木 保



【第1陣】

1月16日頃～21日頃

スタッフ 米田正廣（第3陣にも同行）
スタッフ 久保田好明
理事 鈴木盈宏（第4陣にも同行）
理事 小島祥次
協力 前澤 純（第6陣にも同行）



【第2陣】

1月25日頃～31日頃

スタッフ 川合基弘
スタッフ 大野裕司
協力 グリープ



【第3陣】

2月5日頃～7日頃

スタッフ 小野寺雄二
スタッフ 松原優子



【第4陣】

2月9日頃～15日頃



【第5陣】

2月16日頃～22日頃



【第6陣】

2月23日頃～29日頃

愛知ネットが、
「想い」をお届けします。

令和6年能登半島地震における
支援活動支援寄付を募集中

愛知ネットへご寄付や応援のメッセージを送っていただき、
ありがとうございます。
皆様の応援が我々の力になります。
引き続きご指導・ご支援をよろしくお願いいたします！



ご寄付はこちらから

Aichi Net

特定非営利活動法人 愛知ネット

〈事務局〉

〒446-0007

愛知県安城市東栄町 1-7-22 内藤ビル 2F

TEL / 0566-98-5352

FAX / 0566-98-5565

E-mail / info@npo-aichi.co.jp